

令和7年度 第2回豊橋市図書館協議会 会議要録

日時	令和7年10月29日（水） 10:00～12:00
場所	豊橋市中央図書館 集会室
委員	出席定数12名 11名出席
事務局	7名
議事	<p>議題</p> <p>（1） 令和6年度決算概要、図書購入・サービス指標、事業実績について</p> <p>（2） 豊橋市図書館基本構想の目標値について</p> <p>（3） 中央図書館リニューアルの進捗状況について</p> <p>（4） 子ども読書活動推進計画 後期アクションプラン策定計画（素案）について</p>
配付資料	<p>議題</p> <p>（1） 令和6年度決算概要、図書購入・サービス指標、事業実績について</p> <p>（2） 豊橋市図書館基本構想進捗報告、豊橋市図書館基本構想</p> <p>（3） 中央図書館リニューアル工程表</p> <p>（4） 第四次豊橋市子ども読書活動推進計画後期アクションプラン（素案）</p>

<議事概要>

議題（1）令和6年度決算概要、図書購入・サービス指標、事業実績について
事務局より、配付資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

<質疑応答>

【委員】

多くの方に参加いただいていることは、とても喜ばしいことだと思う。一方で参加人数が少ないイベントがあるが、利用者へ情報がいきわたっているのか？人数の少ないイベントについて今後見直す予定はあるのか？

（事務局）

参加人数が少ないものについては定員を設けているものがある。応募に対して定員が少なければ定員を増やすことを検討したい。例えば、6ページの「読書感想文教室」は前年度好評であり定員と回数を増やした。周知については、各図書館、広報とよはしや図書館の

SNSで周知を行ったり、連携先にも周知をお願いしている。今後もできるだけ多くの方に参加していただけるようにしていきたい。周知が行き届かなかったイベントは周知を工夫したり、イベント自体を取りやめることを検討するなど変化をつけながら進めていきたい。

【委員】

「プログラム体験講座」3人と少ない。利用者の希望と図書館のやり方にずれがないようにして工夫してほしい。

(事務局)

イベントについて参加者からアンケートを取っているが、回答内容を精査し、翌年度のイベントの参考にしていきたい。

【委員】

3ページ上4段目にある有効登録者数について、ほかの図書館と比べて傾向はどうなっているか。

(事務局)

有効登録者については、3年間利用のないものの登録を無効としている。豊橋市は、3年間で見直しているが、他市は様々な指標となっている。有効登録者率を上げて多くの方に貸出券を作成したいと思っている。

【委員】

本の貸し借りが図書館にとって大切なものであると思う。東三河中核の図書館であるため、数字の変動をよく見てほしい。有効登録者率が増えていくといいと思う。

議題（２）豊橋市図書館基本構想の目標値について

事務局より、配付資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

<質疑応答>

(事務局)

令和6年度については向山文化会館改修工事に伴い向山図書館が3か月間休館している。なお、今年度については8月から令和8年2月末まで7か月間休館予定である。今回は昨年度の協議会の中で委員の方から「図書館に足を運ばなくても、とよはしアーカイブにアクセスされている場合は、図書館の利用者に含めるべき」との意見があった。事務局とし

でもアーカイブ資料の充実はしっかりと取り組んでいる事業で今後も着実に利用者を伸ばしていきたいと考えている。一方で、充実させることで来館しない方々も一定数お見えになるかとも思っている。現時点において目標指数は来館者数としているので、そこに単純に合算はしないが、参考数値としてアーカイブ利用状況を記載した。直近の目標として令和7年度は来館者と、このアーカイブ利用者数を合わせて180万人を目指していきたいと考えている。各目標指標の進捗について報告をしたが、図書館運営については、平成31年3月に、図書館に関わる様々な方々が多くの時間をかけてこれからの豊橋市図書館の未来像を示した豊橋市図書館基本構想に基づき、様々な取り組みを行っているので、今回は、改めて、その内容と現在の状況説明をするため配布した。

図書館基本構想は、図書館が持つ可能性を最大限に発揮し、限られた財源の中で、多様化する価値観やライフスタイル、変化する図書館サービスへのニーズに対して、より一層柔軟に適切に対応できるよう、今後の図書館のあるべき姿や進むべき道、果たすべき役割など新たな時代における本市の図書館像を示すものと記載している。この基本構想は、個別計画とは異なり、長期的な視野に立ち、本市図書館の目指すべき方向性を示すものであり、構想自体にいつを目標とするような計画年度はない。今後、見直すタイミングが来るとするならば、この構想に沿った図書館運営が完了した時、また図書館の役割がこの基本構想に書かれていることと大きく相違が出てくると考えられる時など、基本構想に示された豊橋市図書館の未来像を様々な要因により大きく変える必要がある時に改めて委員の皆様意見に意見を伺い検討していきたいと考えている。

そして、豊橋市図書館基本構想の基本理念である「未来をはぐくむ知と交流の創造拠点の実現」に向けて、職員が一丸となり、知恵を絞ってこの基本構想に沿った運営を行っていく。この基本構想には先に進捗状況を説明した目標指標を4つ掲げ、目標値は倍増させたいという高い目標を立てて図書館運営を行っているが、中央図書館大規模改修の実施が当初より遅れている影響が出ている。基本構想で示された取り組みをしっかりと行い、リニューアルオープンは少し先になるが目標値を目指していく。

【委員】

平成30年度に豊橋市図書館基本構想を策定後、コロナ禍やまちなか図書館オープンを経て、今後中央図書館を改修していくわけであるが、豊橋市図書館基本構想の骨子や目指すべき方向性はそのままがいいと思う。また、豊橋市は外国人が増加しているため、多文化共生等新しい観点を加味しながら具体的な施策を進めていってほしい。

議題（３）中央図書館リニューアルの進捗状況について(非公開)

事務局より、配付資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

<質疑応答>

【非公開部分】

議題（４）子ども読書活動推進計画 後期アクションプラン策定計画（素案）について(非公開)

事務局より、配付資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

<質疑応答>

【非公開部分】